

# 変動社会における青少年問題（暴力・非行・いじめ等）に関する日米会議

当センターでは、1999年2月26日(金)、27日(土)、28日(日)の3日間にわたり、神奈川県葉山町・湘南国際村センターにおいて、アメリカから招聘した4人の研究者を含め内外の研究者約30名が参加して、「変動社会における青少年問題（暴力・非行・いじめ等）に関する日米会議」（企画責任者：藤田）を開催した。その会議の成果は、当センターの研究シリーズとして1999年度中に刊行される予定であるが、会議の目的とプログラムは以下の通りである。なお、この会議の開催に際して、日本学術振興会（日米教育文化協力事業）の助成を受けた。記して感謝したい。

## 1. 会議の目的

21世紀を目前として、日米をはじめ多くの先進諸国で、青少年の暴力、非行、いじめ、精神的無秩序などが問題化している。これらの問題は、その現れ方は各国の文化社会状況や歴史的背景によって多様であるが、先進産業社会・高度情報消費社会が共通に抱える構造的な問題でもある。いずれにしても、問題状況は複合的・多元的であり、臨床心理学や精神医学はもちろん、教育学や教育社会学や犯罪社会学の分野でも、学問的に新たな理論的・実証的検討の必要性が高まっており、また、実践・政策面でも、学際的・総合的なアプローチが必要となっている。

この日米会議は、こうした状況を踏まえ、教育学、社会学、心理学などの分野で青少年問題に関心を持つ日米の研究者が集まり、暴力・非行やいじめ問題を中心に、青少年問題の現状とその構造や背景について検討することにより、この分野における学問的研究の新たな展開に向けて一つの触媒となることを期して、また、実践・政策への示唆を提供することを目的として開催された。

## 2. 会議の概略（プログラム）

開会の言葉 近藤邦夫 東京大学・学校臨床総合教育研究センター長

セッション1 「変動社会における青少年問題 (Juvenile Problems in a Changing Society)」

司会 佐藤 学 東京大学  
発表 藤田英典 東京大学

「日本における今日の青少年問題と教育改革：その再評価と将来へ

の課題 (Today's Juvenile Problems and Educational Reform in Japan : It's Reappraisal and Implication to Our Future)」

コメンテーター 志水宏吉 東京大学

セッション2 「日本とアメリカにおける青少年問題と政策 (Juvenile Problems and Policies in Japan and the United States)」

司会 亀口憲治 東京大学

発表 Shay Bilchik, U.S.Department of Justice 「アメリカにおける青少年の暴力と青少年対策 (Juvenile Violence and Juvenile Justice in America)」

生島 浩 法務省法務総合研究所  
「日本の少年非行の今日的特徴：少年非行は凶悪化しているのか (Present Characteristics of Juvenile Delinquency in Japan : Is Juvenile Delinquency Getting More Heinous)」

コメンテーター 清永賢二 日本女子大学  
鮎川 潤 金城学院大学

セッション3 「犯罪調査の再評価と介入プログラム (Evaluation of Delinquency Research and Intervention Programs)」

司会 清永賢二 日本女子大学

発表 Robert Boruch, University of Pennsylvania  
「犯罪研究等におけるランダム評価調査の重要性 (The Importance of Randomized Field Trials in Delinquency Research and Other Areas)」

コメンテーター 藤田英典 東京大学

セッション4 「メディア文化と青少年の暴力 (Media Culture and Juvenile Violence)」

司会 鮎川 潤 金城学院大学

発表 Barry Sanders, Pitzer College  
「暴力、電子メディアと書き言葉の

喪失 (Violence, Electronic Media and the Silencing of the Written Word)」

佐藤 学 東京大学

「学校における暴力：身体にひそむニヒリズム (Youth Violence in Contemporary Schools : Nihilism inside Body in the Suburbs)」

コメンテーター 杉本 卓 東京大学

占部慎一 都立足立西高等学校

セッション5 「現代の家族・学校と青少年の問題行動 (Family, School and Juvenile Problems : Programs for Change)」

司会 志水宏吉 東京大学

発表 Richard Hayes, University of Georgia

「アメリカの学校における暴力の

解明：問題，展望と変化のためのプログラム (Researching Violence in America's Schools : Problems, Promises, and Program for Change)」

亀口憲治 東京大学

「学校と家族の連携による青少年の問題行動の解決 (Family Psychology and Japanese Families)」

コメンテーター 亀口憲治 東京大学

堀口香織 東京大学

総合討議

司会

藤田英典 東京大学

閉会の言葉

近藤邦夫 東京大学・学校臨床総合教育研究センター長